

～胃がんの早期発見に検診を～

胃がんは、わが国でがん死亡の上位の疾患です。しかし、早期に発見すれば治療が可能です。早期胃がんは、内視鏡（胃カメラ）による治療も可能です。胃がんの初期段階で自覚症状が出ることは少なく、かなり進行していても無症状の場合があります。早期発見・早期治療のためには、定期的な検診が重要です。また、症状がある場合は医療機関を受診しましょう。

※胃部エックス線検査による胃がん検診は、死亡率減少効果があることが認められていますが、100%の精度ではありません。がん検診で必ずがんが見つけれられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくても検診の結果が「陽性」となる場合もあること（偽陽性）、がん検診で見つかったがんが「治療しなくても死亡の原因にならない」場合があること（過剰診断）などをよく理解したうえで、正しい知識を持ってがん検診を受診してください。

胃部エックス線検査の方法

- ・顆粒状の発泡剤を飲み、胃を膨らませます。胃が膨らむことで胃のひだが伸び、表面の様子が見やすくなります。
- ・胃はエックス線を透過するため、そのままでは写すことができません。液体のバリウムを飲み、体を回転させ、胃の表面に薄いバリウム膜を作ることによって撮影が可能になります。
- ・体をうつ伏せにしたり傾けたりして、色々な方向から胃のレントゲン写真を数枚撮ります。

検診結果・精密検査の方法

<精密検査不要>

検査の結果、その時点では「精密検査の必要がない」という意味です。今回異常がなくても定期的に検診を受けましょう。

<要精密検査>

要精密検査とされた方は、消化器科を診療科目としている医療機関で内視鏡検査（胃カメラ）を必ず受けましょう。

※精密検査の結果は個人情報保護法の例外事項であり、個人の同意がなくても依頼のあった自治体へ報告することとなっております。

胃がんの原因と予防

胃がんの原因の一つに塩分濃度の高い食品を食べる食習慣が影響しているといわれています。意識して改善に取り組みましょう。

男女別部位別がん死亡数の順位

	1 位	2 位	3 位	4位	5位
男	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
男女計	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓

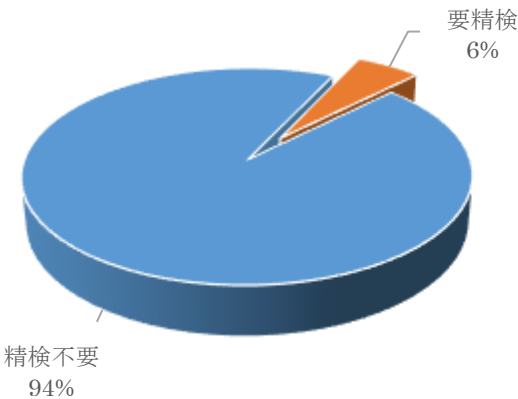
資料：がんの統計 2026（公益財団法人 がん研究振興財団 発行）

＊東大和市では令和6年中に23人の方が胃がんで命を落としています。

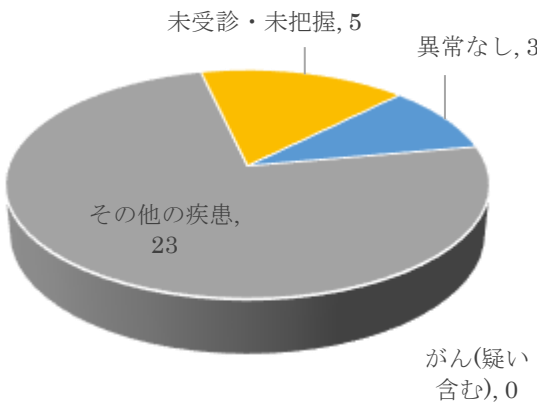
令和7年度東大和市における胃がん検診バリウム検査実施状況

東大和市で胃がん検診バリウム検査を受診した487人のうち、検診結果で要精密検査となった方は31人でした。精密検査を受診した方の結果は、胃がん(疑い含む)0人、その他の疾患23人、異常なし3人でした。

一次検診受診者487人
要精密検査者 31人



要精密検査者31名の内訳



お問合せ：東大和市健幸福祉部健康推進課成人保健係（東大和市立保健センター内）
電話：042-565-5211（月～金 9時～17時）